

平成23年度第3回さぬき市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会

会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成23年11月24日（木） 14：00～16：13
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所2階201会議室
- 3 出席者〔委員〕山下直子、金岡エミ子、犬伏美奈子、谷幸夫、多田勲、
江口清子、真鍋芳樹、石川憲、福光優、櫻村友正、大河原洋子、
岡保紀、白井謙二、板倉茂樹、中村淑子
〔事務局〕奥村重信、梶原明美、東直行、佐々木和男
〔コンサルタント〕武内
〔傍聴〕なし
- 4 議 題
 - (1) 今後のスケジュールについて (資料1)
 - (2) さぬき市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）について
 - 第5期介護保険制度改革のポイントについて (資料2)
 - 計画策定にあたっての第4期からの変更点 (資料3)
 - 介護保険料試算資料 (資料4)
 - さぬき市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案） (資料5)
 - 第5期香川県高齢者保健福祉計画（素案） (資料6)
 - (3) その他（次回日程等について）
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
事務局	開会の挨拶
会長	会長挨拶
事務局	現在14名（会長挨拶時点で15名）の委員の出席により会議が成立しています。議事進行等については、会長にお願いします。
会長	議事に移りたいと思います。では、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。
事務局	今後のスケジュールについて資料1をもとに説明。 資料確認と説明（資料2から資料4-2まで）。
会長	ここまでで何か質問等あればお願いします。
委員	資料4-2の下の端の数値について、表の見方を教えてください。
事務局	平成22年度の第4期の介護給付と地域支援事業の事業費計画数値と実績との比較です。
事務局	資料5をもとにさぬき市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の素案に

<p>会長 委員 事務局</p>	<p>ついて説明し、この計画素案のパブリックコメントを行うことを説明。 資料6をもとに第5期香川県高齢者保健福祉計画の素案について説明。 ここまでで質問はありませんか。 第4期の介護保険料と支払は黒字で推移しているのですか。 具体的な話は今年度末でなければできませんが、第4期の計画よりも介護給付費が多くなっています。保険料充当分からいうと赤字になっています。</p>
<p>会長 委員 事務局</p>	<p>準備基金のことにに関して何か質問はありませんか。 準備基金が増えることは難しいのですか。 理想は、計画の3年間で決めた保険料だけを介護給付に使いきることが理想です。現段階では基金を取り崩して保険料の設定をしていますので、徴収した保険料を基金に積み立てることは難しい状況です。</p>
<p>委員 会長 委員</p>	<p>わかりました。 他に質問はありませんか。 今後公的年金は上がりそうにないが、固定資産税等は上がってくることになる。年金から引かれすぎると、手もとに残るお金が少なくなります。どうしたらいいのでしょうか。また、利用者の負担のあり方についても何とかならないのでしょうか。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p>資料3-2をもとに説明。 資料5について、10ページに認定者の推移について書かれていますが、認定者の何%がサービスを使っているのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1割ぐらいの方は、認定を受けていてもサービスを利用していないと思います。ただし、そのなかには入院中の方やサービスは使わないけれど認定を持っておきたい方もいます。認定者全員がサービスを利用するということはないと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>毎年度その割合は同じくらいですか。つまり、毎年9割が利用しているということですか。資料4-2を見ると、平成22年度の認定者数が2,975人、平成23年度の認定者数が3,073人で増加率が1.033、一方、65歳以上人口の増加率は1.001。65歳以上人口の増加率より認定者数の増加率の方が大きいですが、平成23年度以降の推移を見るとその逆になっているのはなぜでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>第1次ベビーブームの世代の方々が65歳になるので、1号の被保険者の人数は急激に増えます。しかし、その全員が認定者にならないのが原因ではないでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>それが原因だとしても、認定者数の増加率が減るということは考えられないと思います。この推計で第5期を持ちこたえられるのですか。第6期</p>

<p>ｺﾝｸﾞﾙｸﾞ</p>	<p>のこと等も考えておかなければならないのではないのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今回の認定者数の推計方法について説明。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。他の推定方法でも推定してみたほうがよいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>私も資料4 - 2を見ると、見込み量が少ないと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>平成22年度と26年度を比較して1割以上認定者が増えるということになります。再度検証したいと思います。基金との兼ね合い、市長との協議、他市の状況も考慮しながら保険料を決定させていただきたいと思</p>
<p>会長</p>	<p>ます。</p>
<p>委員</p>	<p>資料4 - 1の基金繰入額について皆様のご意見をお伺いしたいと思</p>
<p>事務局</p>	<p>ます。どのくらいの基金繰り入れが適当と考えますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この基金は、県に預けている基金とは別のものですね。</p>
<p>会長</p>	<p>県の基金について説明。</p>
<p>事務局</p>	<p>どのくらいが適当でしょうか。意見もないようですので半分くらい取り崩すということでもよろしいでしょうか。そのほかに意見はありませんか。なければ、(3)その他のことに関して事務局よりお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3)その他に関しまして、次回の日程については第4回目を1月26日の木曜日からと考えております。また、現時点で介護報酬が未確定のため介護保険料の部分の推計をのけて予定通りの日程でパブリックコメントを行いたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>閉会あいさつ</p>